

第34回鳥取県西部医師会一般公開健康講座 アンケート集計

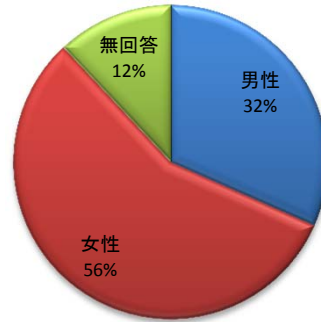
我が家で自分らしく生き、暮らし続けるために ～ 在宅医療とは ～

平成26年 2月20日 米子市文化ホール

講師 神鳥 高世 先生 (神鳥眼科医院) 回収率85%(117人/137人)

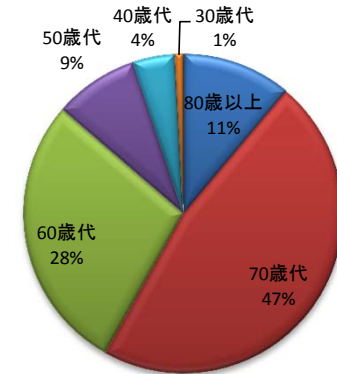
★ 性別

	件数	割合
男性	37	32%
女性	66	56%
無回答	14	12%
合計	117	100%



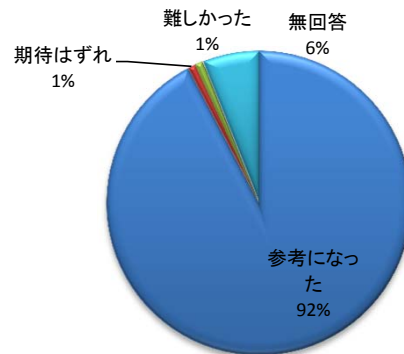
★ 年齢

	件数	割合
80歳以上	13	11%
70歳代	55	47%
60歳代	33	28%
50歳代	10	9%
40歳代	5	4%
30歳代	1	1%
20歳代	0	0%
19歳以下	0	0%
無回答	0	0%
合計	117	100%



★ 講演はいかがでしたか。

	件数	割合
参考になった	108	92%
期待はずれ	1	1%
難しかった	1	1%
分からない	0	0%
無回答	7	6%
合計	117	100%



平成26年 2月20日 米子市文化ホール

講師 神鳥 高世 先生 (神鳥眼科医院) 回収率85%(117人/137人)

自由記載覧

今日の講演のご感想や今後この講座で聞いてみたい内容、その他、西部医師会へ聞いてみたい事など何でも結構ですので、ご自由にお書きください。

・「在宅医療」がテーマの本日の健康講座は、実に分かり易くて有益な内容でした。ありがとうございました。引っ越しが大好きな小生ですが、ようやく終の住処と定めることができたサービス付き高齢者向け住宅「白鳳」で安穩に暮らしております。大腸がんの手術をしていただいた労災病院を部屋の窓から眺めての日々ですが、住まいを自宅、病院ををかりつけ医院とは考えられません。そこで帰宅後、施設長にかかりつけの医師を持ちたいと話しました。次回の講座の「大腸がんについて」も拝聴したいと思います。メガネを忘れて参りましたので、帰宅後FAXで送ります。

・少し考えてみるのもいいのではないかな？

・とても参考になり感激です。最近自分たちの最期はどうしようかと二人で身辺を整理しようと毎日主人と相談しているところで、このように自宅で死を迎えるよう地域の色々な専門職の方々のお世話になって人生を送ることが出来ることを学べて安心して自宅という方向に考えることにしました。

・色々な病気（特に時間が勝負になるもの）の前ぶれの見分け方など。

・大変良い話を聞きました。

・とても良いお話を聞きました。死に方を決めることは良く生きることなのだと思います。

・スクリーンの字が大きくてわかりやすかった。医師の言葉がはっきり話されわかりやすかった。昼間でも家族がいなくても看取れる事を知ったが金額も知りたい。家族でなく医師ヘルパー利用するとお金もどれくらいか知りたい。

・とてもわかり易く話された。

・老々でもお一人様でも在宅で最後を迎えられるのは心強いことでした。あんしん手帳も大きな字、必要事項をもらすことなく記入できるので心強いことです。例えて二人の方の最後の過ごし方も印象的でした。乳がんの女性の話も「子どもたちへの命の伝達」も心に残りました。

・神鳥先生の明快な講話内容に敬服しました。今後は目の病気そのもの、予防、注意点についてお話を聞かせればと切望致します。

・久しぶりに有意義な感動的な講演を聞かせていただきました。実母をかかえているので、今後の参考にさせていただきます。又、今回のような話をもっとたくさんの方々に聞いてほしいと思いました。

・本日のお話は、今迄何回か受けていますが、具体的な例を聞いて、先ず「かかりつけ医」を決めなければと思いました。

・実父86才で介護2になりまして本日お話を伺って在宅医療を聞き（方法等）安心しました。ありがとうございました。

・やっぱり家が一番です。

・良い勉強になりました。ありがとうございました。

・元気なうちにやるべきことが良く分かりました。

・自分の意志を息子達とよく話し合う必要を思った。

・独居老人です。子どもはなくずい分前からこの先のこと考え考え生きております。そろそろ、しっかり決心することしなければと思います。

・事例を交えての話がとてもわかりやすかった。

・介護医療等いろいろな事例により、より解りやすく理解できました。有難うございました。

・具体的に又、スライドもありよくわかった。姑を見るための嫁の意志か。やはり必要なこと、考えられた。そして金を利用するとの事、具体的には。

・昨秋、米寿になった実父がディサービスとヘルパーさんのお世話で何とか独り暮らしをしています。実家は淡路島ということもあり、何かあった時の事等々、色々、考えてみるのですが、自分自身の考え方もまとまらずでした。今日の講演では、考え方の指針が見えた様に思います。ありがとうございました。

・80代の父を在宅でみています。父はデイケアに通っています。在宅を支える仕組みや制度が整ってきていて、恩恵を受けていることに感謝しています。だけど、まだまだ他人に言えない悩みもあります。気持ちがざわつくことも多々あります。安心して不安を口にできる場所が、もっとあるといいと思っています。何人かの在宅医療を現在している知人たちと会話の折に話す状況を聞いて思うのは、本当にそれぞれ条件が違うなあってことです。私が子供の頃から、両親が代わりばんこのように入院するようになってからも本当にいろいろなことがありました。嬉しいことも つらいことも。

私は救急法を習ったりして、いざというときに備えることには関心が高いつもりでいました。けど、実際そうなったときは、こわかった。日頃から生活習慣を整えることや水分や温度差への対応などは、今思うと後手後手でした。在宅で看ることになっても、家族で連携が上手くいかずいろいろあったなあ…

だけれども、家族全員が父のことを大好きで二度の大病を克服して、少し優しい性格になった父と地域の支援を受けながら穏やかに暮らせること、父とゆっくりお別れできるであろうことを心から喜んでいる今です。救急医療やデイケア施設、主治医さん、ケアマネさん、あつてのことです。

最後になりましたが、今日の先生、とってもやさしそう。とても参考になるお話をありがとうございました。今はまだ今日一日で一杯一杯ですが、勇気をもらいました。

・今までは何かあったら病院・施設と妻と話していたが、今日のお話を機会にもう一度話し合ってみたい。「出来る限り家で、出来れば最期まで」と。

・みんな聴くことで勉強になる。

・とてもわかり易く良い話でした。（参考になりました）

・涙なくて聞けない。生と死の話とてもよかったです。

・非常に判り易いお話で参考になりました。有難うございました。

・とても良かったです。

- 平穩死について知りたいと思っています。

- 良いお話を聞きました。常に良い逝き方をと思っているが、いかなる事をしたり、わからない事だらけ、逝き方の講演を良く聞きますが。

- 自分が障害になってはじめて。

- とても参考になった。身近なことがわかりやすく話してごされとても参考になりました。

- 例を上げてでの在宅のあり方を説明してもらいとても分かりやすかった。（私自身も在宅で看取ってほしいと強く思った。夜家族とまた話をして話題にしたい。

- さびしい話でした。とうとうその時が来たなと覚悟しました。